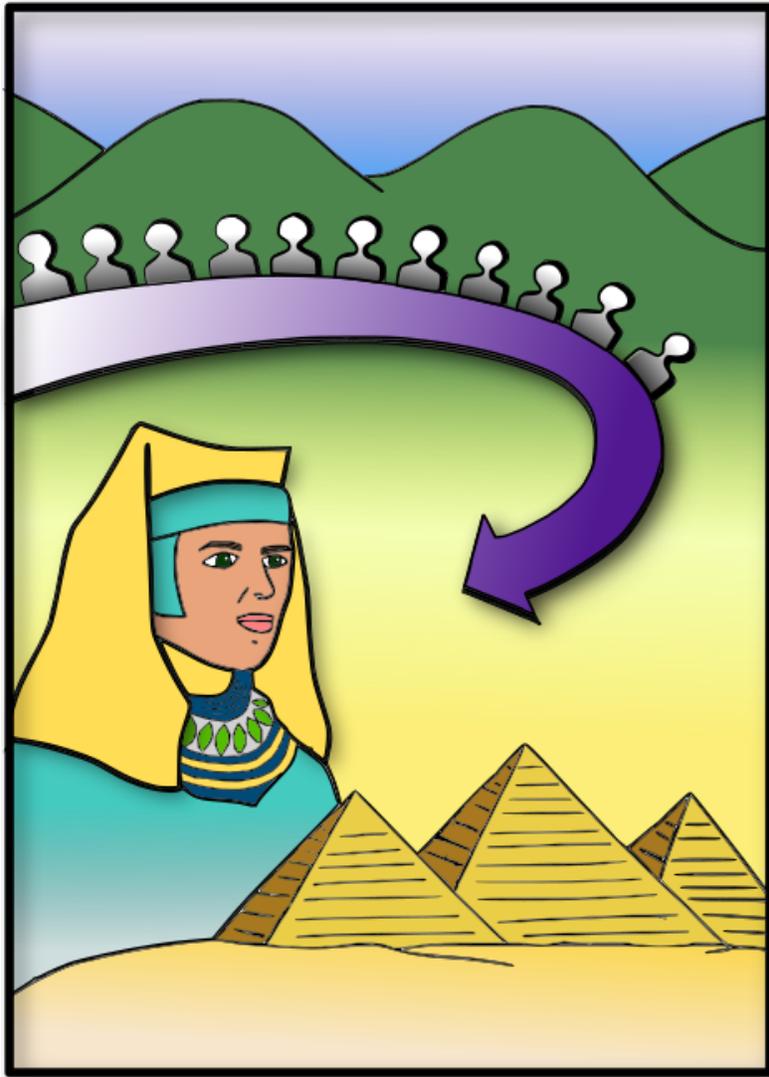


異国に生きる者たち

国家の誕生



創世記 37 - 50

第6課：異国に生きる者たち

国家の誕生

聖書

本	著者	章	年
創世記	モーセ	37 - 50	紀元前1450-1410年

概要

創世記 37-50 章は、嫉妬深い兄弟たちに裏切られ、エジプトで奴隷として売られたヨセフが、神の恩恵と夢を解釈する才能によって権力を握る物語です。飢饉のさなか、ヨセフは兄弟たちを許し、家族と再会し、最終的に彼らの生存を確保し、エジプトにおけるイスラエルの将来の舞台を整えます。

レジュメ

ヨセフの夢

ヨセフは、兄たちと両親が自分の前にひれ伏すという予言的な夢を見る。 - 創世記 37:1-11

奴隷制に売られた

ヨセフの兄たちは、父がヨセフを特別に扱っていることと夢の内容に腹を立て、彼を奴隷として売り、ヨセフはエジプトへ連れて行かれる。 - 創世記 37:12-3

ポティファルの家

ヨセフはエジプトの高官ポティファルの家に仕え、大成功を収める。しかし、ポティファルの妻の偽証により、牢に入れられる。 - 創世記 39:1-20

牢獄での昇進

牢の中でも神の祝福を受け、ヨセフは地位を与えられる。彼はファラオの召使い二人の夢を解き明かす。 - 創世記 40:1-23

ファラオの夢

ヨセフはファラオの夢を解釈し、7年間の豊作とそれに続く7年間の飢饉を予言する。その知恵により、エジプトの副司令官に任命される。 - 創世記 41:1-46

飢饉の備え

豊作の7年間に穀物を蓄え、飢饉に備える。 - 創世記 41:47-57

家族との再会と和解

兄たちは穀物を求めてエジプトへ来る。最初はヨセフを認識しなかったが、3回目の訪問で和解する。ヨセフはファラオの同意を得て、家族をエジプトに招く。 - 創世記 42-46

要点

1. 神は夢を通して、ヨセフに将来の指導的な役割を示されました。
2. ヨセフは数々の苦難に直面しましたが、神は彼を祝福し、好意を与え、偉大な指導者として育てられました。
3. 兄たちはヨセフに害を加えようとしたましたが、神はその出来事さえも善のために用いられ、神の民の救いと保護へとつながる計画を成し遂げられました。